

中学入門シリーズ

入門 英語



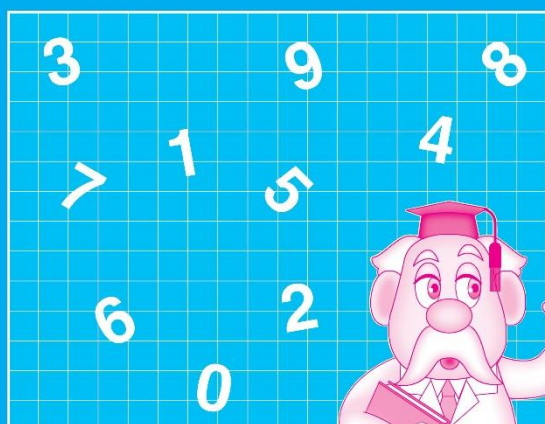
短期集中セミナー

数学 正の数、負の数



中学入門シリーズ

数学 入門



mathematics



短期集中
セミナー

古文

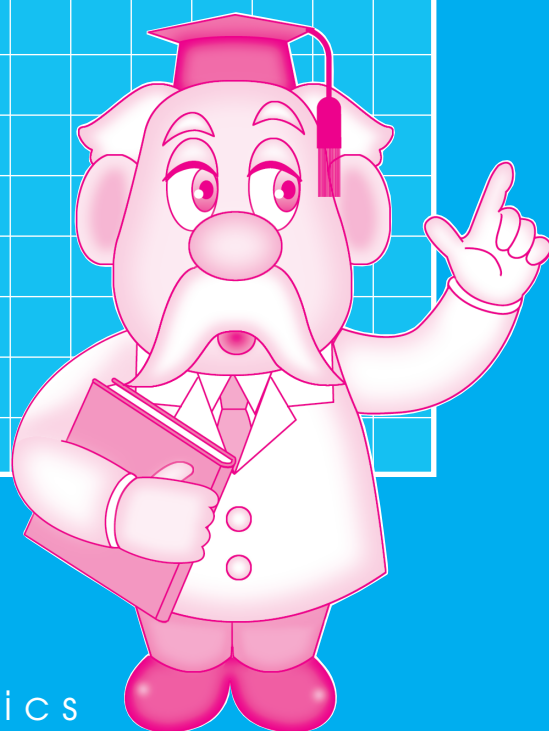
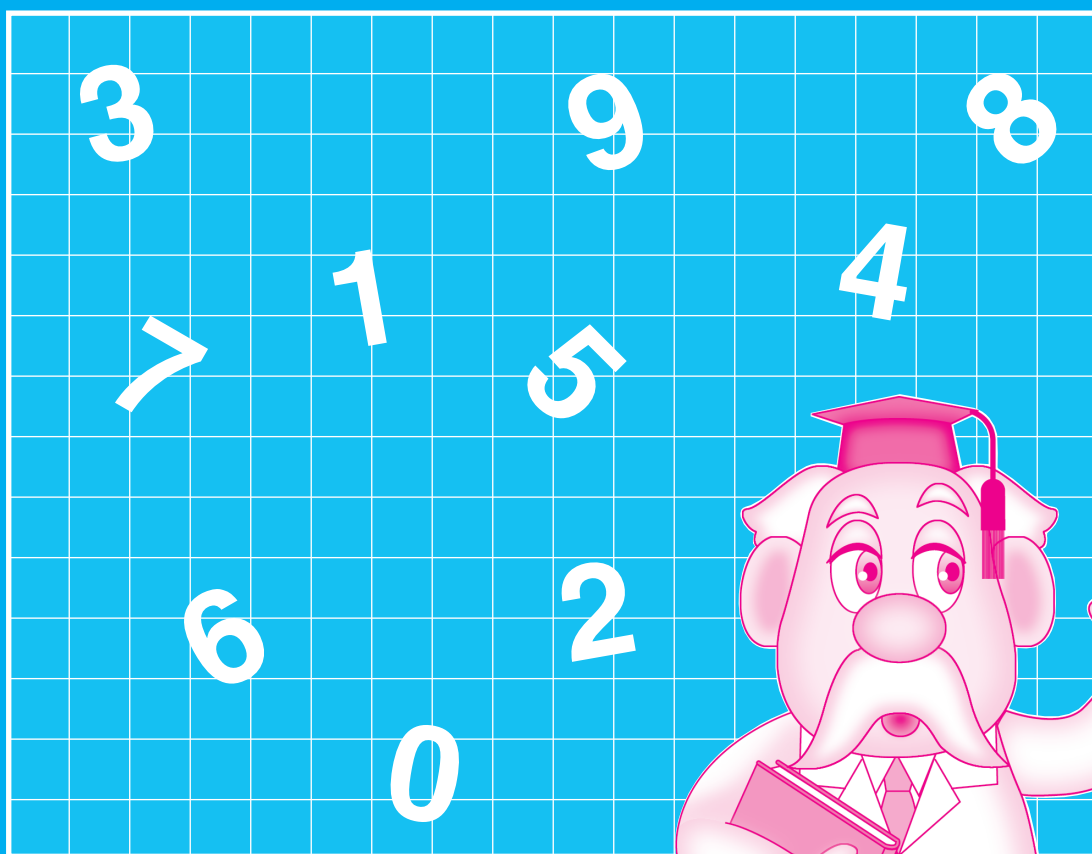
中学入門シリーズ

数

学

入

門



mathematics

目 次

1 小学校の復習

1 計算の順序	2
---------------	---

2 分数のたし算・ひき算	3
--------------------	---

3 分数のかけ算・わり算	4
--------------------	---

◇ 確認テスト	5
---------------	---

2 正の数・負の数

1 正の数・負の数	6
-----------------	---

◇ 確認テスト	9
---------------	---

2 正の数・負の数のたし算(加法)	10
-------------------------	----

◇ 確認テスト	13
---------------	----

3 正の数・負の数のひき算(減法)	14
-------------------------	----

◇ 確認テスト	17
---------------	----

できるかな? その1	18
------------------	----

4 正の数・負の数のかけ算(乗法)	19
-------------------------	----

◇ 確認テスト	21
---------------	----

5 正の数・負の数のわり算(除法)	22
-------------------------	----

◇ 確認テスト	24
---------------	----

今まで習ったことの復習	25
-------------------	----

6 正の数・負の数の混合計算	26
----------------------	----

◇ 確認テスト	28
---------------	----

できるかな? その2	29
------------------	----

総まとめテスト	30
---------------	----

できるかな? その1・2 解答	32
-----------------------	----

1

小学校の復習

1 計算の順序

学習日__月__日 得点__点

次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & 8+2\times 3 \\ & =8+6 \\ & =14 \end{aligned}$$

＋・－・×・÷
の混じった計算
は×・÷から先
にしましょう

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad & 12\div 2\times 3 \\ & =6\times 3 \\ & =18 \end{aligned}$$

×・÷の混じった
計算は前から順に
しましょう

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad & 12\div (6-3) \\ & =12\div 3 \\ & =4 \end{aligned}$$

() の混じった
計算は()
から先にしまし
よう

練習 次の計算をしなさい。(1つ5点)

$$\textcircled{1} \quad 5+2\times 6$$

$$\textcircled{2} \quad 3\times 8\div 4$$

$$\textcircled{3} \quad 4+3\times (8-3)$$

$$\textcircled{4} \quad 15-6\div 3$$

$$\textcircled{5} \quad 12\div 6\times 2$$

$$\textcircled{6} \quad 12-6\div (5-3)$$

$$\textcircled{7} \quad 19-2\times 9$$

$$\textcircled{8} \quad 40\div 4\div 2$$

$$\textcircled{9} \quad 10+8\div (1+3)$$

$$\textcircled{10} \quad 18\div 6+2\times 8$$

$$\textcircled{11} \quad 30\div 2\times 5$$

$$\textcircled{12} \quad 4\times (5+2)-21\div 7$$

$$\textcircled{13} \quad 5\times 8-20\div 4$$

$$\textcircled{14} \quad 14\times 2\div 7\times 2$$

$$\textcircled{15} \quad 3\times (8-3)+5\div 5$$

$$\textcircled{16} \quad 6\times 7+3\times 5$$

$$\textcircled{17} \quad 45\div 15\times 3\div 9$$

$$\textcircled{18} \quad (16-4)\div 3+3\times 2$$

$$\textcircled{19} \quad 3\times 4-4-8\div 2$$

$$\textcircled{20} \quad 48\div 8\div 2\times 4$$

2 分数のたし算・ひき算

学習日 ____ 月 ____ 日 得点 ____ 点

次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & \frac{7}{9} + \frac{2}{3} \\ &= \frac{7}{9} + \frac{6}{9} \\ &= \frac{13}{9} \end{aligned}$$

分数のたし
算・ひき算
は通分して
分母をそろ
えましょう

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad & \frac{3}{10} - \frac{1}{6} \\ &= \frac{9}{30} - \frac{5}{30} \\ &= \frac{4}{30} \\ &= \frac{2}{15} \end{aligned}$$

約分できると
きは、約分し
ましょう

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad & 1 + \frac{3}{4} \\ &= \frac{4}{4} + \frac{3}{4} \\ &= \frac{7}{4} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{4} \quad & 3 - \frac{4}{5} \\ &= \frac{15}{5} - \frac{4}{5} \\ &= \frac{11}{5} \end{aligned}$$

練習 次の計算をしなさい。(1つ5点)

$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{2} + \frac{2}{3}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{3}{2} + \frac{1}{6}$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{5}{6} - \frac{4}{9}$$

$$\textcircled{4} \quad 2 + \frac{1}{6}$$

$$\textcircled{5} \quad \frac{1}{2} - \frac{4}{15}$$

$$\textcircled{6} \quad \frac{3}{4} - \frac{3}{8}$$

$$\textcircled{7} \quad \frac{1}{6} + \frac{3}{10}$$

$$\textcircled{8} \quad 1 - \frac{7}{10}$$

$$\textcircled{9} \quad \frac{2}{3} + \frac{5}{7}$$

$$\textcircled{10} \quad \frac{5}{6} - \frac{1}{18}$$

$$\textcircled{11} \quad \frac{3}{8} + \frac{1}{10}$$

$$\textcircled{12} \quad \frac{1}{6} + 4$$

$$\textcircled{13} \quad \frac{5}{4} - \frac{2}{3}$$

$$\textcircled{14} \quad \frac{4}{21} + \frac{3}{7}$$

$$\textcircled{15} \quad \frac{1}{12} + \frac{4}{15}$$

$$\textcircled{16} \quad 4 - \frac{5}{12}$$

$$\textcircled{17} \quad \frac{2}{5} + \frac{1}{9}$$

$$\textcircled{18} \quad \frac{3}{5} + \frac{17}{30}$$

$$\textcircled{19} \quad \frac{7}{12} - \frac{1}{30}$$

$$\textcircled{20} \quad \frac{7}{8} + 3$$

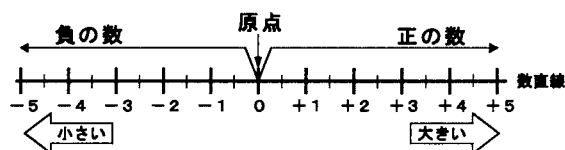
正の数・負の数

學習日 月 日

③ $+2\text{km}$ 西へ進む ④ -20 人の増加

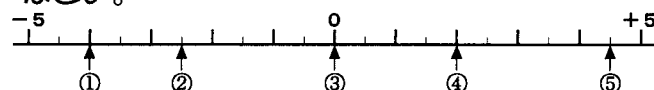
まとめ3

- ① 下のような直線を数直線という。



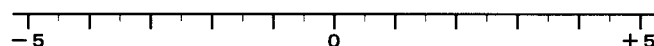
- ② 数直線で0を表す点を原点という。
③ 数直線では左が小さく、右が大きい。

練習3A 次の数直線で点①～⑤の表す数をいれなさい。



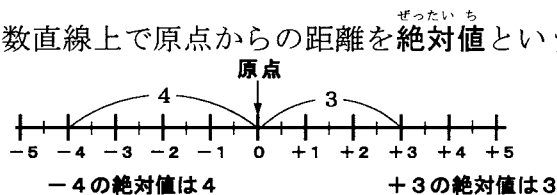
練習3B 次の数直線に点①～④の表す数を書き入れなさい。

- ① +1 ② -4 ③ -0.5 ④ +2.5



まとめ4

- ① 数直線上で原点からの距離を絶対値という。



- ② 0の絶対値は0である。

例1 絶対値が5になる数は

-5, +5の2つ

例2 絶対値が3より小さい整数は

-2, -1, 0, +1, +2の5つ

例3 絶対値が3以下の整数は

-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3の7つ

練習4 次の各問いに答えなさい。

- ① +12の絶対値はいくらですか。
- ② -5.8の絶対値はいくらですか。
- ③ 0の絶対値はいくらですか。
- ④ 絶対値が7になる整数をすべて答えなさい。
- ⑤ 絶対値が2以下になる整数をすべて答えなさい。
- ⑥ 絶対値が4より小さい整数をすべて答えなさい。

まとめ5

- ① 正の数…絶対値の大きいほうが大きい。

例 +4と+6では+6のほうが大きい。

- ② 負の数…絶対値の小さいほうが大きい。

例1 -4と-6では-4のほうが大きい。

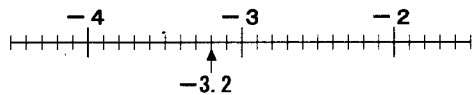
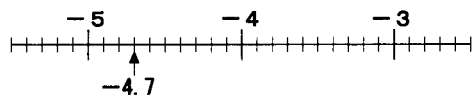
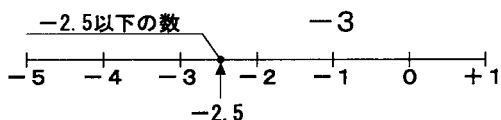
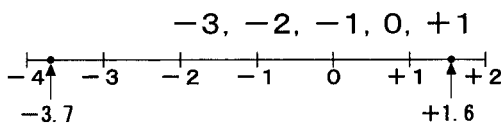
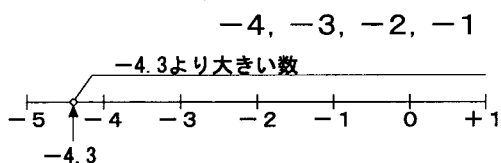
例2 +5, -3, 0, +2, -2を小さい順にならべると

-3, -2, 0, +2, +5となる。

練習5 次の数を小さい順にならべかえなさい。

- ① +8, +6 ② -5, -3
- ③ -0.4, -1.2 ④ +3, -4
- ⑤ -7, +4, -6 ⑥ +1.8, -0.9, +0.5
- ⑦ +4, -6, -3, +2, -2
- ⑧ -2.1, -0.6, +1.4, 0, -2, +0.1

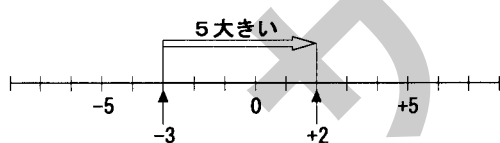
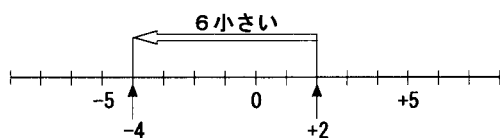
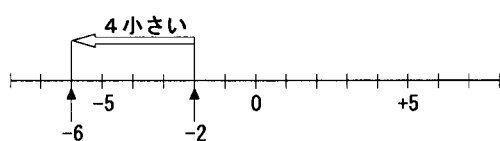
まとめ6

例1 -3.2 に最も近い整数は -3 例2 -4.7 に最も近い整数は -5 例3 -2.5 以下の数の中で最も大きい整数は例4 -3.7 から $+1.6$ の間にある整数は例5 -4.3 より大きい負の整数は

練習6 次の各問いに答えなさい。

- ① -3.6 に最も近い整数を答えなさい。
- ② -7.2 に最も近い整数を答えなさい。
- ③ -6.8 より小さい数の中で最も大きい整数を答えなさい。
- ④ -5.2 より大きい数の中で最も小さい整数を答えなさい。
- ⑤ -4.1 から $+2.9$ の間にある整数をすべて答えなさい。
- ⑥ -3.4 より大きい負の整数をすべて答えなさい。

まとめ7

例1 -3 より、5大きい数は $+2$ 例2 $+2$ より、6小さい数は -4 例3 -2 より、4小さい数は -6 

練習7 次の各問いに答えなさい。

- ① -7 より8大きい数はいくらか。
- ② -12 より5大きい数はいくらか。
- ③ $+3$ より6小さい数はいくらか。
- ④ -8 より4小さい数はいくらか。
- ⑤ -15 より15大きい数はいくらか。
- ⑥ $+1.5$ より3.5小さい数はいくらか。
- ⑦ -7.3 より4.6大きい数はいくらか。

確認テスト

得点 点

1. 下の数の中から、次の①～⑤にあてはまるものをすべて選びなさい。(1つ4点)

- ① 正の数 ② 負の数 ③ 整数 ④ 自然数 ⑤ 負の整数

$$\left[+15, -8, -\frac{2}{3}, 0, +1.2, -0.8, +1, -15, +\frac{1}{4}, +100, -1.8 \right]$$

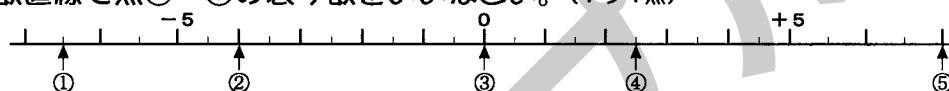
①		②	
③		④	⑤

2. 次のことがらを、+-の符号を変えて、同じ意味になるようにいいかえなさい。(1つ4点)

- ① -15kg 重い ② $+5\text{m}$ 長い ③ -300円 安い ④ $+12$ 人少ない

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

3. 次の数直線で点①～⑤の表す数をいいなさい。(1つ4点)



①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

4. 次の数を小さい順にならべかえなさい。(1つ4点)

- ① $-6, -8$ ② $-2, +3, -4$ ③ $+2, -1, -3, 0, +1$

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

5. 次の各問いに答えなさい。(1つ4点)

- ① -5 の絶対値はいくらですか。
 ② 0 の絶対値はいくらですか。
 ③ 絶対値が3より小さい整数をすべて答えなさい。
 ④ -4.6 に最も近い整数を答えなさい。
 ⑤ -8.3 より大きい数の中で最も小さい整数を答えなさい。
 ⑥ -2.7 より小さい数の中で最も大きい整数を答えなさい。
 ⑦ -5 より9大きい数はいくらですか。
 ⑧ $+3$ より7小さい数はいくらですか。

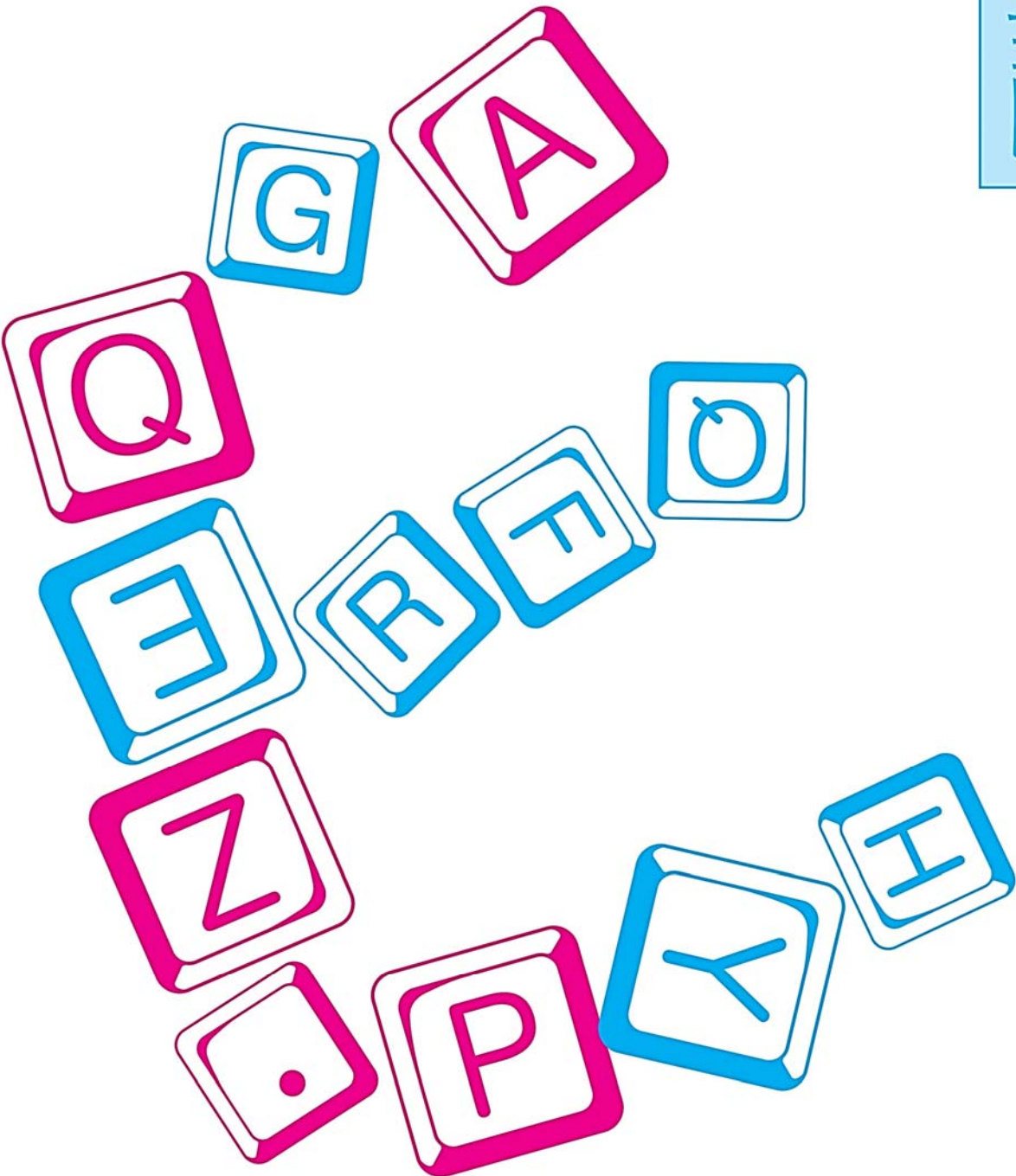
①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

中学入門シリーズ

入門

英

語



もくじ

1. アルファベットと単語

アルファベットの練習(ブロック体)	2
小学校で勉強したローマ字の復習	4
単語の練習	6
確認問題	15

2. 第1章 あいさつ 18

3. 第2章 My name is ~ . 20

4. 第3章 This is ~ . の文 その1 22

5. 第4章 This is ~ . の文 その2 24

6. 第5章 That is ~ . 26

7. 第6章 This (That) is not ~ . 28

8. 第7章 Is this (that) ~ ? 30

9. まとめの問題 32

単語の練習(6~14ページ)の単語の発音について

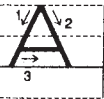
- ① 発音記号に慣れるまでの手助けとして、カナ発音をつけてあります。
- ② カナ発音はカタカナで示していますが、日本語の発音にないものはひらがなを用いています。
- ③ アクセント(単語の中で、特に強く、または高く発音する部分)は母音字の上に(´)をつけて示してあります。カナ発音では、太字で示しました。

アルファベットと単語

アルファベットの練習

ブロック体(大文字)

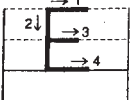
第1線
第2線
第3線
(基準)
第4線



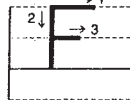
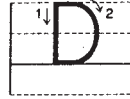
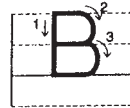
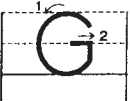
▲横棒は第2線の下に書きます。



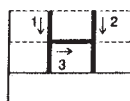
▲小文字と形は同じですが、高さがちがいます。



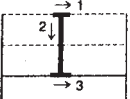
▲右のように書いてもかまいません。



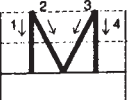
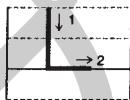
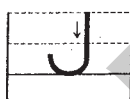
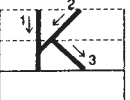
▲右のように書いてもかまいません。



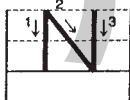
▲右のように書いてもかまいません。



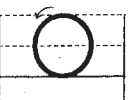
▲右のように書いてもかまいません。上下の横棒をつけわすれないようにしましょう。



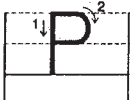
▲右のように書いてもかまいません。



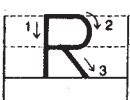
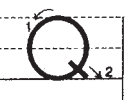
▲右のように書いてもかまいません。



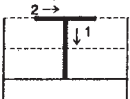
▲書き出しの位置に注意しましょう。



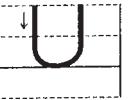
▲小文字と形は似ていますが、書く位置がちがいます。



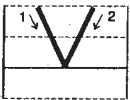
▲小文字と形は同じですが、高さがちがいます。



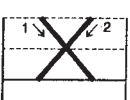
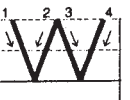
▲右のように書いてもかまいません。



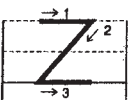
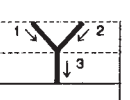
▲右のように書いてもかまいません。



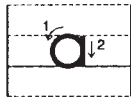
▲右のように書いてもかまいません。



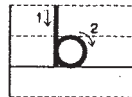
▲右のように書いてもかまいません。



ブロック体(小文字)



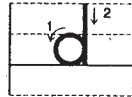
▲ 活字体と形がちがうので注意しましょう。



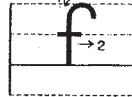
▲ bとまちがえやすいので注意しましょう。



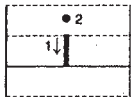
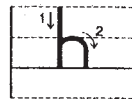
▲ 大文字と形は同じですが、高さがちがいます。



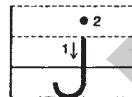
▲ 横棒はあとから書きます。



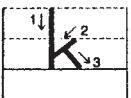
▲ 活字体と形がちがうので注意しましょう。



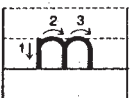
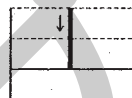
▲ 点はあとから書きます。



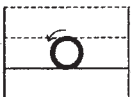
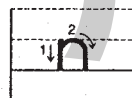
▲ 点はあとから書きます。



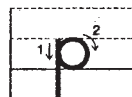
▲ 大文字のlとまちがえやすいので注意しましょう。



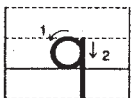
▲ はばが広くなりすぎないように注意しましょう。



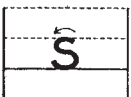
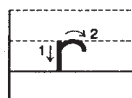
▲ 書き出しの位置に注意しましょう。



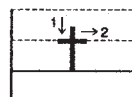
▲ 大文字と形は似ていますが、書く位置がちがいます。



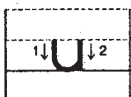
▲ 小文字のgとまちがえないようにしましょう。



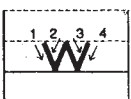
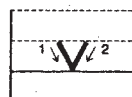
▲ 大文字と形は同じですが、高さがちがいます。



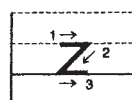
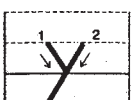
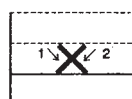
▲ 横棒はあとから書きます。



▲ 右のように書いてもかまいません。



▲ 右のように書いてもかまいません。



日本語になった英語② (スポーツや音楽)



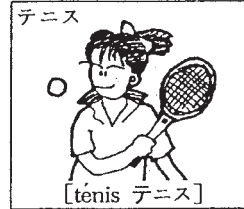
sport



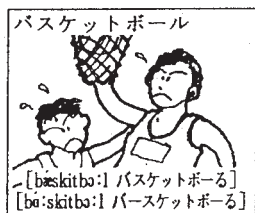
baseball



soccer



tennis



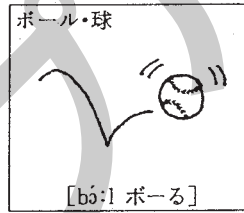
basketball



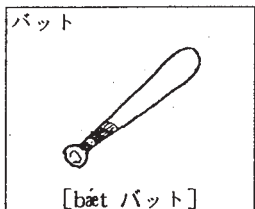
skating



skiing



ball



bat



glove



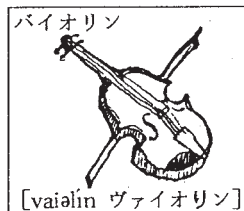
racket



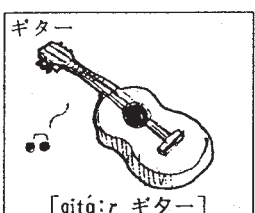
music



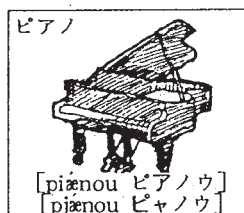
song



violin



guitar



piano

ときを表す名前・曜日の名前



year



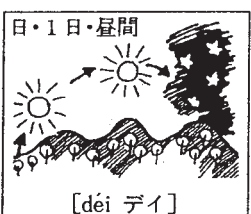
month



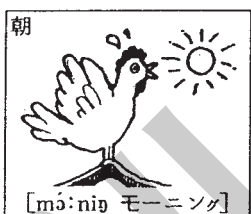
week



today



day



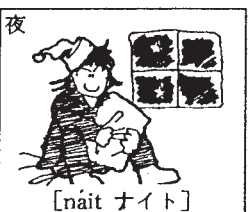
morning



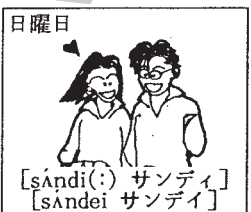
noon



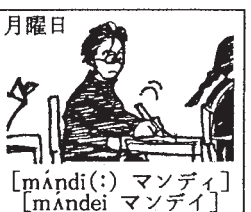
afternoon



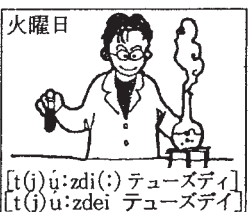
night



Sunday



Monday



Tuesday



Wednesday



Thursday



Friday

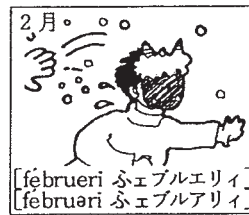


Saturday

月の名前・季節の名前



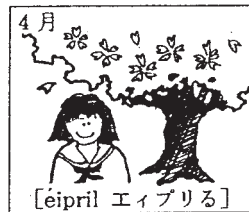
January



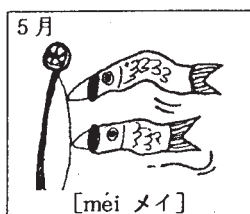
February



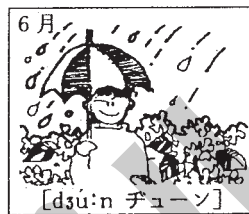
March



April



May



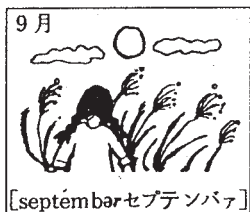
June



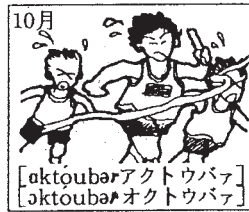
July



August



September



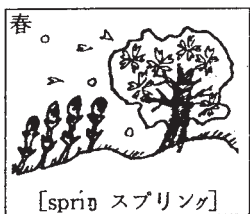
October



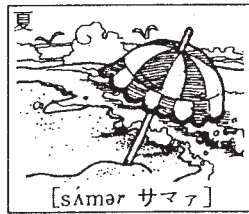
November



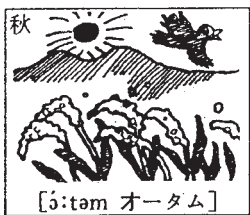
December



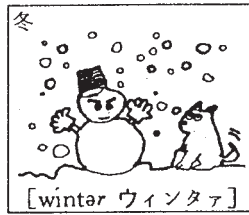
spring



summer



autumn



winter

第1章 英語のあいさつ Good morning.

① ^{グッド} Good ^{モーニング} morning. おはよう。 ② ^{アフタヌーン} Good afternoon. こんにちは。 ③ ^{イーヴニング} Good evening.こんばんは。 ④ ^{ナイト} Good night. おやすみなさい。	
① 人に会ったときにいう、あいさつのことばです。①は正午ごろまで、②は午後、③は夕方から夜、④は寝る前に用います。 ② 相手の名前がわかっているときは、Good morning, Mr. ^{ミスタ} ^{グリーン} Green. Good afternoon, Mrs. ^{ミセス} ^{ブラウン} Brown. Good evening, Miss ^{ミス} ^{スミス} Smith. など相手の名前をあとにつけます。(P22④参照)	
^{グッド} Good ^{バイ} -by さようなら。 ① わかれのあいさつには、Good-by を使います。 ② ^{シー} See ^{ユー} you ^{レイター} later. (では、またあとで。), ^{アゲイン} See you again. (では、またね。) など もわかれのあいさつとしてよく使うことばです。 ③ 子供どうしの間では、^{バイ} Bye-^{バイ} bye. (さようなら。) もあります。	

《練習問題》

1 例にならって、次のあいさつの文を答えなさい。

例 グリーンさん、おはようございます。 Good morning, Mr. Green.

(1) ブラウンさん、こんにちは。

(2) スミスさん、こんばんは。

(3) ベン、おやすみなさい。

(4) さようなら、ケンジ。

(5) さようなら。(子供どうしで)

おはよう

ハウ ドゥー ユ ドゥー
How do you do?

はじめまして。

- ① これは初対面の人へのあいさつのことばです。これは、時によっては「こんにちは」の意味にもなります。
- ② How do you do, Taro? (太郎さん、こんにちは。)というように名前をつけてもよく使われます。
- ③ How do you do? は疑問文の形ですが、べつに答える必要はありません。How do you do? といわれたら、こちらも How do you do? と答えればよいわけです。

ハウ アー ユー
How are you?

ごきげんいかがですか。

- ① これは、知りあっているものどうしのあいさつです。
- ② How are you? に対しては Fine, thank you. (ありがとうございます、元気です。)と答え、同時に And you? (そしてあなたは。)と相手に問い返すのが通例です。

《練習問題》

2 日本文の意味を表す英文になるように [] に適語を入れなさい。

(1) はじめまして。

[] do you do?

(2) 太郎さん、こんにちは。

How [] you [], Taro?

(3) ごきげんいかがですか。

[] are you?

(4) ありがとうございます、元気です。あなたは。

[], thank you. [] you?

3 日本文の意味を表すように、次のあいさつの文を答えなさい。

(1) はじめまして。

[]

(2) ごきげんいかがですか。

[]

(3) ありがとうございます、元気です。あなたは。

[]

ブロック体

英 語 入 門

PENMANSHIP

ペンマンシップ

Fire



Tree



Whale



Butterfly



Bird



Shoe



Leaf



Factory



Flower

Bear



Sun

Worm



Bean



Fish



Bicycle



Mountain



ALPHABET

(ブロック体)

A a

B b

A	a	B	b

C c

D d

E e

F f

C	c	D	d	E	e	F	f

G g

H h

I i

J j

G	g	H	h	I	i	J	j

K k

L l

M m

N n

K	k	L	l	M	m	N	n

O o

P p

Q q

R r

O	o	P	p	Q	q	R	r

S s

T t

U u

V v

S	s	T	t	U	u	V	v

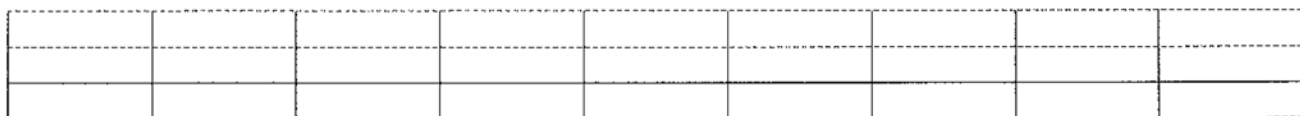
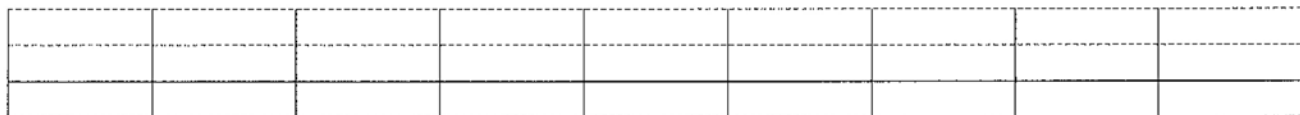
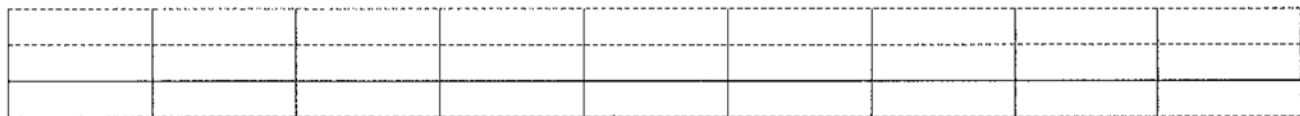
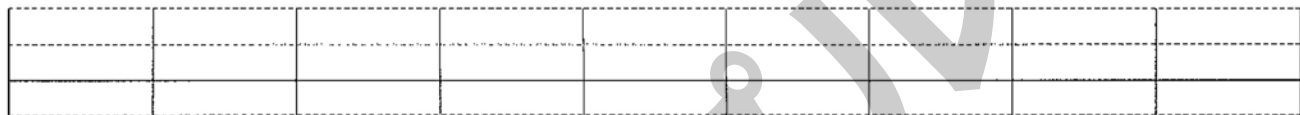
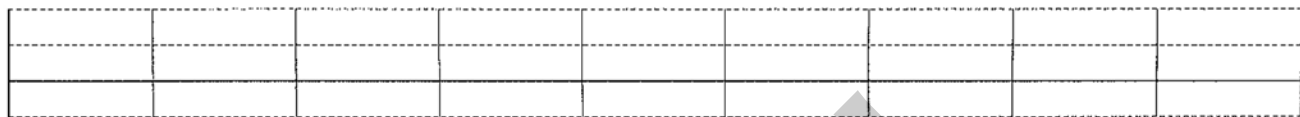
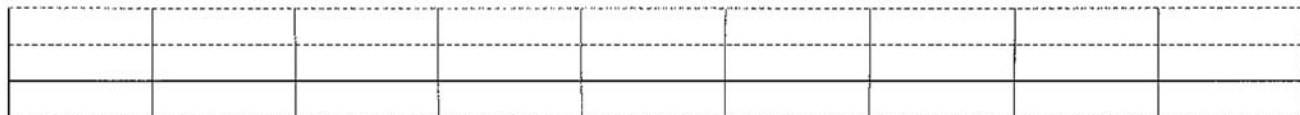
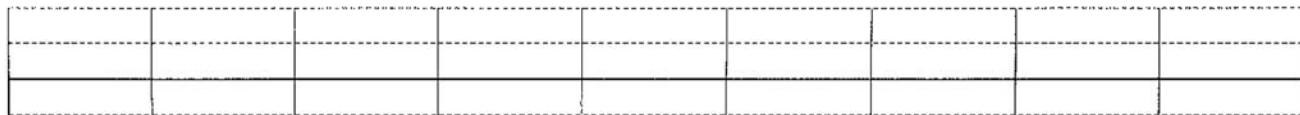
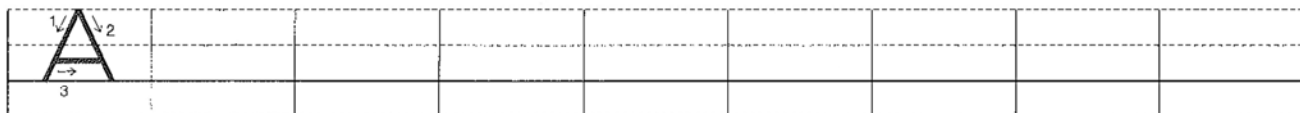
W w

X x

Y y

Z z

W	w	X	x	Y	y	Z	z



短期集中

セミナール

古文



古文

目次

1	古文入門……………	2
2	古文の特徴(1) 語い・単語……………	6
	重要古語(その1)……………	10
3	古文の特徴(2) 文法……………	11
4	説話……………	16
5	随筆……………	21
	重要古語(その2)……………	25
6	物語……………	26
7	和歌、俳句、俳文……………	31
8	近代の文語文……………	36
	付・主要動詞、助動詞活用表……………	

古文入門

●古文は現代文とどこがちがうのか、学びます●

〈まとめ〉

言葉はたえず変化しており、五〇〇年位たつと特別な勉強をしないとその作品は読めなくなると言われている。それは、発音・仮名づかい・語い・文法が時代とともに変化するためである。

(1) 発音—たとえば、「ハ」は、古代では「パ」だったと考えられている。したがって、奈良時代ごろには「はは(母)」は、「パパ」と発音されていたものと考えられている。

(2) 仮名づかい—古典作品は、基本的には現代日本語と同じ原理によって書かれているが、文字の表記はほぼ平安時代の方法に固定されている。そのため、古典を読むためには仮名づかいを知る必要がある。現代の書き方を現代仮名づかい、古典の書き方を歴史的仮名づかいと呼ぶ。(本章で学びます。)

(3) 語い—古典の作品の中で使用されている単語は、現代語とほとんど同じものと、まったく違うものがある。動詞は比較的变化しにくく、名詞・助動詞などは変化が激しいなどの特徴があるが、単語を知らない古典作品は読むことができない。(第2章 古文の特徴(1)で学びます。)

(4) 文法—古典も日本語で書かれているので、基本的には同じ規則(文法)に従っているが、動詞や形容詞の活用などは、現代語と多少違いがある。英語と日本語の違いほど大きな違いがあるわけではないが、文法の違いを理解していないと古典のニュアンスを味わうことができなくなるので、基本的な事項は頭に入れておく必要がある。(第3章 古文の特徴(2)で学びます。)

歴史的仮名づかいの原則

およそ次のような原則がある。

〈原則1〉現代では使わない、文字が二つある。

ゐ(ヰ)とゑ(ヱ)。それぞれ「い」と「え」と読むが、実はこれはワ行の文字である。つまり、

ワ行 わ ゐ う ゑ を ワ ヰ ウ エ ヲ

ア行 あ い う え お ア イ ウ エ オ

例 「用ゐる」↓「用いる」、「こずゑ」↓「こずえ」
歴史的仮名づかい↓現代仮名づかい ゐ↓い、ゑ↓え

〈原則2〉古典で、語のはじめ以外にあるハ行の文字は、現代語ではワ行に変わっている。言い換えれば、語のはじめ以外のハ行の文字はワ行で読む。

例 「には」↓「にわ(庭)」、「おもふ」↓「おもう(思う)」

歴史的仮名づかい↓現代仮名づかい 語のはじめ以外では、
は↓わ、ひ↓い、ふ↓う、へ↓え、ほ↓お

〈原則3〉現代語の「じ」「ず」は、古語では「ぢ」「づ」となっている場合がある。

例 「ちづ」↓「ちぢ(地図)」、「もみぢ」↓「もみじ(紅葉)」
歴史的仮名づかい↓現代仮名づかい 「ぢ」↓「じ」、「づ」↓「ず」

〈原則4〉現代語の「か」「が」は、古語では「くわ」「ぐわ」となっている場合がある。例 「ぐわいじん」↓「がいじん(外人)」、

「くわんげん」↓「かんげん（管弦）」

歴史的仮名づかい↓現代仮名づかい 「くわ」↓「か」、「ぐわ」↓「が」

〈原則5〉その他 複合することによって異なった音となるものがある（現代仮名づかいではできるだけ発音通りに表記する。これはローマ字で表すと分かりやすい。

例 「やうやう」↓「ようよう」、「おめでたう」↓「おめでとう」、「せうと」↓「しょうと」、「りうぐう」↓「りゅうぐう」、

au→o iu→yu eu→yo

〈基本問題〉

1 五十音図をつくりなさい

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
									い
									う
									え
									お

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
									イ
									ウ
									エ
									オ

2 次の語を現代仮名づかいにあらためよ。（原則1をみてこたえなさい）

まゐる↓ をどり↓

ゑんりよ↓ ゐる↓ すゑ↓

3 次の語を現代仮名づかいに直せ。（原則2をみてこたえなさい）

あはれ↓ うれひ↓

おほかみ↓ いはふ↓

うぐひす↓ かへる↓ いふ↓

あひだ↓ かほ↓ とほり↓

4 次の語を現代仮名づかいに直せ。（原則3、4をみてこたえなさい）

はぢ↓ めづらし↓ ゆづる↓

くわんねん↓ ぐわいぶん↓

5 次の語を現代仮名づかいに直せ。（原則5をみてこたえなさい）

まうす↓ りうかう↓

ローマ字に書き直してみよう

演習問題

① 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

なほ行き行きて、武蔵国と下総国との中に、^①いと大きな川あり。それをすみだ川と^②言ふ。その川のほとりに群れ^③ゐて、思ひやれば、限りなく遠くも^④来にけるかなとわび合へるに、渡し守、「はや舟に乘れ、日も暮れぬ。」と言ふに、乗りて渡らむとするに、みな人、ものわびしくて、京に思ふ人なきにしもあらず。さる折しも、白き鳥の嘴と脚と赤き、鳴の大きさを、水の上に遊びつつ魚を^⑤食ふ。京には見えぬ鳥なれば、みな人、見知らず。（『伊勢物語』）

問1 傍線部①～③を現代仮名づかいに改めよ。

①	②	③

問2 傍線部④「群れるて」の「ゐ」は何行の字か。カタカナで答えよ。

行

問3 傍線部⑤「いと大きな川あり」の「来にけるかな」の意味を書け。

⑤	⑥

② 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

春はあけぼの。^①やうやうしろくなりゆく山ぎは、^②すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。
夏は夜。月のころはさらなり。やみもなほ螢の^③飛びちがひたる。雨などの降るさへをかし。

秋はゆふぐれ。夕日花やかにさして山ぎはいと近くなりたるに、鳥のねどころへ行くとして、三つ四つ二つなど、^④飛び行くさへあはれなり。まして雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆる、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音などはた言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでも、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るも、いとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりて^⑤わろし。（『枕草子』）

問1 傍線部①～④を現代仮名づかいに改めよ。

①	②	③	④

問2 傍線部⑤の「の」と同じものを次から選び記号で答えよ。

ア 月のころはさらなり

イ 山の端いと近うなりたるに

ウ 雪の降りたるは言ふべきにもあらず

エ 火桶の火も白き灰がちになりてわろし

問3 傍線部⑥で「わろし」（よくない）と述べているが、筆者がこう考える理由としてふさわしいものを次から選び記号で答えよ。

ア 火桶の炭が消えると寒くて困るから

イ 汚らしく不潔な気がするから

ウ 冬のひきしまった雰囲気に似合わないから

エ 火桶の灰の世話を誰もしないから

問4 この作品の作者名を漢字でしるせ。

3 古文の特徴(2)

文法

●古文特有の言葉の規則を学びます●

〈まとめ〉

どんな言語でも発音と単語の知識があれば、ある程度の理解は可能だ。しかし、内容をきちんと理解するためにはどのような規則(文法)に従っているかということを知らなくてはならない。古文は日本語だから、文法は現代日本語と同じと考えてよい。ただし、ほんの少しだけ違いがある。そして、ほんの少しではあるがこの違いがよく分かっていないと古文はまるで外国語のように見えてきてしまうのだ。普通、現代語の文法を口語文法と呼び古文の文法を古典文法と呼んでいる。

ここでは、助動詞、助詞、係り結び、呼応表現、敬語について特に重要な点をまとめておこう。

(1) 助動詞——「彼は字を書く」という文は、「彼は字を書いた」「彼は字を書くだろう」という文と意味が違う。その違いはなぜ生じるのかというと、動詞の後に助動詞「た」「だろう」がついているからだ。助動詞は時代によって変化しやすく、現代語では使われなくなった助動詞を覚えなくてはならない。次にかける助動詞はやさしい古文を読解するために必要最小限の重要助動詞である。これだけは覚えよう。

特に重要な文語助動詞

文法的意味	口語	文語	用例
完了	た てしまう	ぬ たり	文読みつ。(手紙を読んできた。) 雪降りぬ。(雪が降ってしまった。) 迎へに來たり。(迎えに來た。) 上りたまへり。(参上なさった。)
過去	た	き けり	雪降りき。(雪が降った。) 昔、男ありけり。(昔、男がいた。)
推量	だろう う よう	む らむ めり べし	花咲かむ。(桜の花が咲くだろう。) 雪降るらむ。(今頃雪が降っているだろう。) 花咲くめり。(桜の花が咲くようだ。) 花咲くべし。(桜の花がきっと咲くだろう。)
打消	ない・ぬ	ず	花咲かず。(桜の花が咲かない。)
打消推量	ないだろう (二語)	じ まじ	花咲かじ。(桜の花は咲かないだろう。) 雪降るまじ。(雪はきっと降らないだろう。)

(2) 助詞——助詞は現代語と共通するものも多いが、意味にはずれがある場合があるので注意が必要である。

特に注意すべき助詞の用法

ば——口語では「仮定形＋ば」は仮定条件(もし……ならば)を表すが、文語では、次のような区別がある。

a 未然形＋ば——仮定条件(もし……ならば)

(例) 雪降らば行かず。(もし雪が降ったら行かない。)

b 已然形＋ば——確定条件(……ので、……するといつも)

(例) 雪降れば行かず。(雪が降るので、行かない。)

の——口語では「彼の本」のように連体格(名詞を修飾するもの)が普通だが、文語では主格(「の」の前の語が主語であることを示すもの)でも用いられる。口語では「が」に当たるものである。

a 花の散るを見て詠めり。(桜の花が散るのを見て歌を詠んだ。)

b 花の色はうつりにけり。(桜の花の色はあせてしまった。)

(3) 係り結び——普通、文は終止形で終わる(結ばれる)が、文中に「ぞ・なむ(なん)・や・か・こそ」という助詞があると文末を連体形または已然形で結び、文の意味が変わる場合がある。

係助詞	結び	意味	用例
ぞ・なむ	連体形	強調	雪なむ降りける。雪ぞ降りける。
こそ	已然形	強調	雪こそ降りけれ。
や・か	連体形	疑問・反語	雪や降りける。 いずれか歌を詠まざりける。 (歌を詠まないものがあるだろうか。)

(4) 呼応表現——副詞の中には特別な語と結びつくものがあり、口語では

「全然……ない」「きつと……だろう／はずだ」などがある。また、英語にも not at all や not only … but also などの呼応表現があり、これらを知らないといふの正しい意味をつかむことはできない。

a え……ず (とても) ……できない。関西方言の「よう・せん」のもとになった表現である。

(例) え答えずなりはべりつ。(答えることができなくなりました。)

b な……そ (決して) ……するな

(例) な起こしたてまつりそ。(お起こし申し上げるな。)

c つゆ……ず まったく……ない

(例) つゆまどろまれず。(まったく眠ることができない。)

d よも……じ まさか……まい

(例) 雪よも降らじ。(雪はまさか降るまい。)

e いかで……む なんとかして……よう

(例) いかで誘ひ出して遊ばむ。(なんとかして誘い出して遊ぼう。)

(5) 敬語——現代日本語でも敬語は使われており、日本語の特徴の一つになっている。古文の敬語はより複雑なもので、特に平安時代には身分の差が大きく、それに対応して敬語が発達している。敬語を正確に読みとることによってその文の主体(動作手)や、影響を受ける対象をつかむことができる。

敬語は次の三つに分けられる。()内は現代日本語。

尊敬語(例) おはす(いらっしゃる)、おはす(お考えになる)、

のたまふ(おっしゃる)、…したまふ(…なさる)

謙譲語(例) …したてまつる(お…しもうしあげる)、参る(参上する)

申す(申し上げる)、きこゆ(申し上げる)

丁寧語(例) はべり、さぶらふ(です、ます)

〈基本問題〉

① 次の傍線部の助動詞の文中での文法的意味として適切なものを後から選んで記号で答えよ。

(1) その男につきて、人の国へいにけり。

(その男の後について、よその国へ移り住んだ。)

(2) 潮満ちぬ。(満潮になってしまった。)

(3) これを待つ間、何のたのしびかあらむ。

(これを待つ間、何の楽しみがあるだろうか。)

(4) 今すでに五年を経たり。(今はもう五年が過ぎてしまった。)

(5) 風吹けば 沖つ白波 たつた山 夜半にや君が ひとりこゆらむ

(夜中にあなたはたった一人で今頃は越えていることであろう)

(6) 「今は見どころなし」などはいふめり。

(7) 京には見えぬ鳥なれば、みな人見知らず。

(都では見かけない鳥なので、だれも知らない。)

(8) 法師ばかり、うらやましからぬものはあらじ。

(僧くらいにうらやましくないものは、ないだろう。)

(9) 雀の子を、犬君が逃がしつ。

(雀の子を、犬君ちゃんが逃がしてしまった。)

(10) わが庭の萩の花咲けり。(咲いた。)

ア 完了 イ 過去 ウ 推量 エ 打消 オ 打消推量

2 次の文の傍線部を「ば」に注意して口語訳せよ。

(1) 悪人のまねとて、人を殺さば悪人なり。

(2) 風吹けば、え出で立たず。(出発することができない)

3 次の文中の係助詞の結びの語を抜き出し、活用形を答えよ。

(1) 橋を八つわたせるによりてなむ八橋といひける。

(橋を八つかけているので、八橋というのだった)

(2) 聞きしにもすぎてたふとくこそおはしけれ。

(うわさに聞いていた以上に本当に尊くていらしかったです)

(3) 水はその山に、三ところぞ流れたる。

(水はその山に、実に三か所も流れている。)

(4) 近き火などに逃ぐる人は、しばしと言ふ。

(近くの火事から逃げる人は、もう少ししばらく待ってくれと言うだろうか)

4 次の文の口語訳として適切なものを後から選び記号で答えよ。

(1) この玉たやすくはえ取らじ。(『竹取物語』)

ア この玉は簡単には取れないだろう。

イ この玉は簡単に取れるだろう。

ウ この玉はすぐに取ってしまおう。

エ この玉はすぐに取った。

(2) 「なにか射る。な射そ、な射そ。」(『大鏡』)

ア 何を射るのか。なぜ射るのか、なぜ射るのか。

イ どうして射るのか。射るな、射るな。

ウ どうして射ないのか。早く射よ、射よ。

エ 何か射るものはないか。何か射てみよ、何か射てみよ。

(3) つゆまどろまれず。(『源氏物語』)

〈演習問題〉

① 次の文章を読んで後の設問に答えよ。

- ア ゆつくりと眠れない。
 イ 静かに眠れなかった。
 ウ 少しも眠れない。
 エ だれも眠らない。
- (4) いかで、その宮の琴聞かむ。参らせ給へ。〔栄花物語〕
- ア なんとかして、その宮の琴を聞きたい。参上させて下さい。
 イ そこへは行かないで、その宮の琴を聞こう。参上させて下さい。
 ウ いつかは、その宮の琴を聞くだらう。参上させなさい。
 エ いつまでも、その宮の琴を聞く積もりだ。うかがいます。

〔注〕 *仁和寺にある法師、年寄まで、*石清水を① 拝まざりければ、心憂くおぼえて、あるとき思ひ立ちて、ただひとり、徒歩よりまうでけり。*極楽寺、高良などを拝みて、② かばかりと心得て帰りにけり。さて、かたへの人に会ひて、③ 年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ*本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。

〔徒然草〕

〔注〕 *仁和寺〓京都にある寺。 *石清水〓石清水八幡宮。京都府八幡市にある神社。
 *極楽寺、高良〓ともに石清水八幡宮に付属する寺院と社。八幡宮そのものではない。
 *本意〓本当気持、本来の目的。

問1 傍線部①、②、③の解釈として正しいものを次から選び記号で答えよ。

①「拝まざりければ、」

- ア 参拝しなければ、
 イ 参拝しないとしたならば、
 ウ 参拝しないとしても、
 エ 参拝しなかったのだ、
- ②「徒歩よりもうでけり。」
- ア 歩いてお参りした。
 イ 歩いてすぐに到着した。
 ウ 歩いてみると外に出ていた。
 エ 歩いても近かった。
- ③「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。」
- ア 長い間思っていたことを、実現できなかった。
 イ 長い間思っていたことを、実現した。
 ウ 長い間思っていたことを、実現しました。
 エ 長い間思っていたことを、実現できませんでした。

問2 傍線部④「かばかり」とは、「これだけ」ということであるが、「何がどれだけ」ということか。簡潔に記せ。

問3 傍線部⑤「尊くこそおはしけれ。」の係り結びの結びの語を指摘し、終止形にして答えよ。

問4 傍線部⑥「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。」は、「ささいなことにも案内者はあつてほしいものだ」という意味であるが、その理由として適切なものを次から選べ。

- ア 案内者がおらず、八幡宮へ通じている道に迷ったから
 イ 案内者がいないと、神社や寺院のいわれが分からないから
 ウ 案内者がいないために、山に登ることが出来なかったから
 エ 案内者がなかったために、八幡宮そのものを見ずに帰って来たから

2

次の文章を読んで後の設問に答えよ。

行き行きて、*駿河の国に①いたりぬ。宇津の山にいたりて、わが②入らむとする道は、いと暗う細きに、つた・かへでは茂り、もの心細く、とんでもないひどいずるめを見る事と思ふに、*修行者あひたり。「③かかる道はいかにかいまする」といふを見れば、④見し人なりけり。京に、*その人の御もとにとて、文書きてつく。

駿河なる宇津の山べのうつつにも夢にも人にあはぬなりけり
富士の山を見れば、五月の⑤つごもりに、雪いと白う降れり。

時知らぬ山は富士の嶺いづとてか鹿の子まだらに雪の降るらむ
その山は、京都でたとえるならばここにたとへば、ひえ比叡の山を二十ばかり重ねあげたらむほどして、
なりは*しほじりのやうに(⑥)ありける。〔伊勢物語〕

(注) *駿河 現在の静岡県西部。 *修行者 諸国をめぐり歩く仏道修行の者。

*その人 特に人を示さない表現だが、ここでは妻あるいは恋人。

*しほじり (塩尻) 製塩のために砂を山の形に積み上げたもの。

問1 傍線部①「いたりぬ」の「ぬ」と同じ意味・働きものを次から選べ。

ア 年頃(長年)思ひつること、果たし侍りぬ。

イ さらに(まったく)我がしらぬ人なりけり。

ウ うつつにも夢にも人にあはぬなりけり

エ 時知らぬ山は富士の嶺いづとてか…

問2 傍線部②「入らむとする」の意味として最適なものを次から選べ。

ア 入ろうとする イ 入ってしまった

ウ 入るかもしれない エ 入るだろう

問3 傍線部③「かかる道はいかにかいまする」を口語訳すると次のようになる。空欄に適切な言葉を補え。

こんな遠い所に

来られたのですか。

問4 傍線部④「見し人なりけり」の意味を次から選べ。

ア 見たこともない人だった イ 会うことになっていた人だった

ウ 見たことのある人だった エ 会いたいと思っていた人だった

問5 傍線部⑤「つごもり」とはいつのことか。漢字二字で答えよ。

問6 ⑥に入る適切な語を次から選べ。

アこそ イや ウさへ エなむ

短期集中セミナー

数学 正の数、負の数

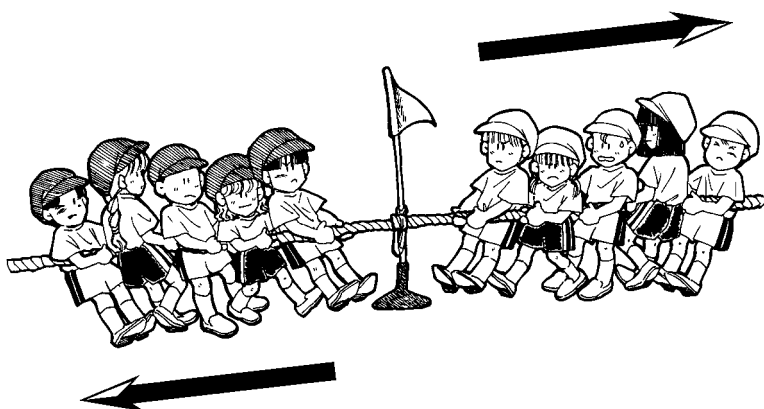


正の数、負の数

中学数学の目的の一つ

「いろいろなことがらをどのように数式や図で表すかを研究する。」

このテキストでは、「反対の性質をもつ量をいかに表すか」を学びます。



目次

1. 正の数、負の数の考えかた	1
2. 正の数、負の数の加減法	5
3. 正の数、負の数の乗除法	9
4. 正負の数の計算の手順と利用	13
まとめのテスト	16

1. 正の数、負の数の考え方

符号「+」と「-」

「反対である」ということを言葉をつかわないで表すには「^{プラス}十」と「^{マイナス}一」を使う。たとえば、「多い」を「+」とすれば、「少ない」を「-」で表す。この「+」や「-」を符号という。

練習1 空欄にあてはまるように、符号や言葉をいれなさい。

- ☐ (1) 利益を「+」で表すとすれば、損失は で表せる。
- ☐ (2) 東に進むことを「+」で表すとすれば、 は「-」で表せる。
- ☐ (3) 収入を「+」で表すとすれば、 は「-」で表せる。

練習2 空欄にあてはまるように、符号をつけた数量や言葉をいれなさい。

- ☐ (1) 東へ200m進むことを「+200m」と表すとすれば、西へ300m進むことは、 と表せる。
- ☐ (2) ゲームで3点勝つことを「+3点」と表すとすれば、「-2点」とは ということを表している。

練習3 空欄をうめなさい。

- ☐ (1) 「-2m 右へ進む」とは、けっきょく2m へ進むことを表している。
- ☐ (2) 「-100円の利益」とは、100円の のことを表している。
- ☐ (3) 「-7点の勝ち」とは、7点の を表している。
- ☐ (4) 「右へ-3めもり進む」とは へ 進むことである。
- ☐ (5) 「2cm 短い」ことは、-2cm ともいえる。

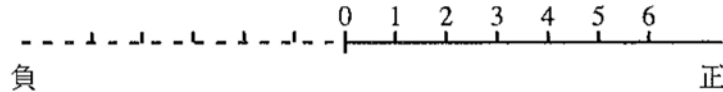
このように「+」と「-」を使えば、「反対の性質を持つ量」が表せるのです。
「+」で表す数を「正の数」、
「-」で表す数を「負の数」という。
ふつう「+」は省略してしまいます。
なお、0は正の数でも負の数でもなく
「+」も「-」もつけません。



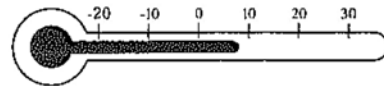
正負の数を図示する

<数直線>

小学校での数直線は0から右側だけであったが、中学校では左にも直線をのばす。この0より左にのばした直線にめもりをとって負の数を表す。



※マイナスもはかれる温度計と同じ

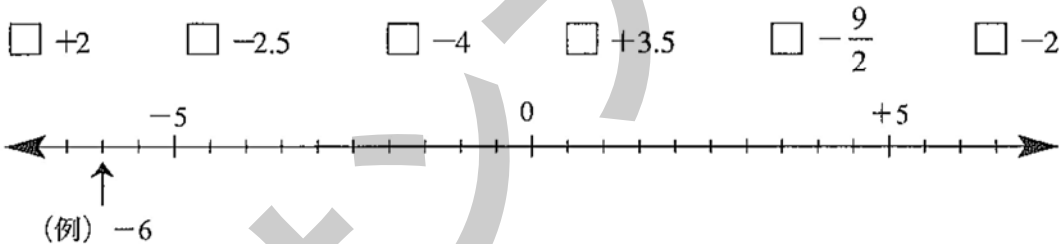


<数の大小>

数直線上では右にある数ほど大きいので、たとえば0と-1では、0のほうが大きい。(-1は0より小さい!!)

また-3と-2では-2のほうが大きく、これを不等号を用いて表せば $-3 < -2$ となる。

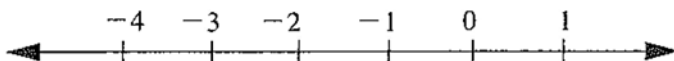
練習4 次の数の位置は数直線上のどこにあるかを例のように示しなさい。



練習5 上の数直線をみて、次の数の大小関係を不等号を用いて表わしなさい。

☐ (1) -2と-4 ☐ (2) +2と-4 ☐ (3) -2と+2と-4

練習6 次の数直線をみて問いに答えなさい。



☐ (1) -3と-1はどちらが大きい数か。

☐ (2) -3と+1の真ん中にある数は何か。

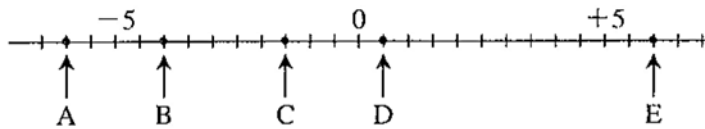
☐ (3) -1.5より小さい整数で最大のものは何か。

☐ (4) -1.5より大きい整数で最小のものは何か。

ぜったいち
絶対値

数直線上で、ある点と原点0との距離を絶対値という。たとえば-3は0から3左にあるので『-3の絶対値は3』である。同様に-5の絶対値は 、5の絶対値は 、 $-\frac{9}{2}$ の絶対値は である。※正負の数から符号をとればよい。

練習7 下の数直線について次の問いに答えなさい。



(1) 点A～Eに対応する数をいいなさい。

☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☐ E

(2) BとEの絶対値をそれぞれ求めなさい。

☐ B ☐ E

☐ (3) 絶対値が3以下の整数をすべていいなさい。

☐ (4) -3.5の位置を数直線上に示しなさい。

☐ (5) -3.5より大きい負の整数をすべていいなさい。

練習8 符号と、絶対値から考えて次の数の大小を不等号を用いて表しなさい。

☐ (1) -4と-7 ☐ (2) -0.1と+0.1

☐ (3) -0.01と-0.1 ☐ (4) $-\frac{5}{12}$ と $+\frac{1}{6}$ と $-\frac{3}{4}$

練習9 次の数を小さい順に並べなさい。

☐ +8, -3, 0, -5, +2, -9, +1

—どうしでは絶対値の
大きいほうが小さい。
—と十では十が大きい



確認問題

合格印

① 次の問いに答えなさい。

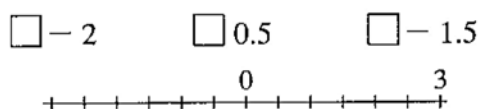
☐ (1) 『15m 右』を $+15\text{m}$ と表すと、『7m 左』はどのように表しますか。

☐ (2) 『 -3m 右』とは結局どういうことですか。

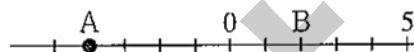
☐ (3) 0 より 6 小さい数は何ですか。

☐ (4) -9 の絶対値を求めなさい。

(5) 次の数を数直線上に表しなさい。



(6) 次の数直線について①～④の数を求めなさい。



☐ ① A に対応する数

☐ ② A より -3 だけ右にある数

☐ ③ A と B のまん中にある数

☐ ④ A より大きい負の整数 (すべて)

② 次の数の大小を不等号を用いて表しなさい。

☐ (1) -5 と $+2$

☐ (2) -8 と 2 と 0

☐ (3) 3 と -5 と $+1$

発展問題

合格印

① 次の問いに答えなさい。

☐ (1) 『20m 南』を -20m と表すと『30m 北』はどのように表しますか。

☐ (2) 『 -2g 軽い』とは結局どういうことですか。

☐ (3) 3 より -3 小さい数は何か。

☐ (4) 9 の絶対値を求めなさい。

☐ (5) 絶対値が 3 より小さい整数をすべてあげなさい。

☐ (6) 差が 6 で絶対値が等しい 2 数を求めなさい。

☐ (7) 数直線上で -4 と 3 のちょうどまん中にある数を求めなさい。

☐ (8) $+7$ 、 -4 、 0 、 2 、 -9 を小さい順に並べなさい。

② 次の数の大小を不等号を用いて表しなさい。

☐ (1) -0.3 と -0.32

☐ (2) $-\frac{2}{3}$ と $-\frac{5}{8}$

☐ (3) $+4$ と -6 と -2

☐ (4) -0.01 と -1

☐ (5) $-\frac{2}{3}$ と -0.6